



神奈川県イグレンニュース

<第201号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川県イグレンビル7F
 Tel./FAX 045-228-7331 http://www.kanagawa-iguren.com

2019年8月号

イベントのお知らせ

→ 第52回 海老名サロン

日時	9月17日(火) 午後3時より
場所	神奈川県イグレンセンター6階 大研修室 (JR 関内駅徒歩約3分)
内容	<p>「心のバリアフリーで経営危機を乗り越える！」 ～「もったいない」から始まる持続可能な経営～ 株式会社 豊栄荘 代表取締役 原 健一郎氏</p> <p>経営理念「私たちは、生かし生かされ心豊かな社会を築きます」 建築の大学院卒業後、建築士として第1線で活躍され、先代の急逝を受けて畑違いの旅館の経営に携わる中での様々な課題や苦労を「心のバリアフリー経営」で乗り越えてきた実践的な経験を報告していただきます。</p>
参加費	資料代500円、交流会参加費3,500円「とりろう」（関内駅前）

※ イベントの詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

1. 川異研通信..... 2ページ
 2. 第51回海老名サロン報告..... 4ページ
 3. 閑中閑話..... 5ページ
- 巻末 第52回 海老名サロンのご案内

➔ 川異研通信

【4月定例会】

4月11日（木）、当所にて会員13名、オブザーバー3名の参加者を得て4月定例会を開催した。

今回は、当会オブザーバーである川崎信用金庫 お客様サポート部 前田良賢氏と朝井亮介氏を講師に迎え、「中小企業の事業経営上の課題と解決策」をテーマに講演が行われた。

先に前田氏からは、同金庫が地元の中小企業に対して行ったアンケート調査結果「コミュニティーレポート」に触れながら、川崎市内の景況感、2019年経営見通しについての概要が述べられた。

続いて朝井氏からは、地域経済の動向、地元中小企業の事業経営上の問題点と解決策について説明された。事業者の声からあがった課題の1位は人手不足。そして「売上の停滞と減少」、「同業者間の競争激化」、「利幅縮小」、「人件費増加」と続く。それぞれの課題解決に向けた同金庫の取組みについて、各支援機関との連携例など、分かりやすく説明された。クラウドファンディング「Readyfor」との連携では、現在開催中のプロジェクトも紹介され、聴講者は興味深く耳を傾けた。

川崎市産業振興財団、川崎市、川崎信用金庫、当所の4社連携による「KAWASAKI 事業承継市場」についても述べられ、オール川崎で事業承継をサポートする旨説明された。

当会では、例年川崎信用金庫に「地域経済動向」についての講演を依頼しており、具体的な事例や数値が把握できると好評を博している。

講演後に行われた懇親会では、会員相互で活発な意見交換がなされた。

【5月総会】

/// 令和元年度川崎異業種研究会通常総会を開催 ///

5月9日（木）当所にて、会員15名、オブザーバー2名の参加者を得て開催した。

菅原会長から2019年度事業方針として「川崎異業種研究会の活力増強と価値増強」が示され、事業内容として以下の3つの骨子が述べられた。(1) 会員交流事業の促進(定例会、勉強会、国内視察会)(2) 会員増強活動の促進(3) 企業間連携・産学官連携事業への促進

また、以下の議案が満場一致で承認された。

- (1) 2018年度事業報告および収支決算承認の件
- (2) 2019年度事業計画(案)および収支予算(案)承認の件
- (3) 役員改選の件
- (4) 旅費要領の件

総会に続いて、講演会を開催、27名の参加者を得た。講師に、**中央大学名誉教授で、国際ビジネスコミュニケーション学会相談役の林田博光氏**を迎え「国際ビジネスとコミュニケーション」という演題で講演が行われた。「令和」の英語表記の説明から始まり、前半は日本での英語表記とネイティブの人が使う英語との微妙な意味合いの違いについて、後半は国際ビジネス、グローバル人材について、実例を交えながらわかりやすくお話しいただいた。異文化間ビジネスで大切なことは、心を開き、相手の文化を知り体験し、相手を思う気持ちであると述べられ、**Dream・Passion・Love**をキーワードにコミュニケーションの基本姿勢を語られた。講演の中では横浜開港当時の英語習得の歴史や、英語学習に映画のセリフや歌を活用するアドバイスなど、興味深い内容が盛りだくさんで好評を博した講演であった。

講演会終了後は、懇親会を開催した。菅原会長の挨拶、川崎商工会議所 山田会頭の来賓挨拶、来賓紹介の後、神奈川県異業種連携協議会議長 金究武正氏の乾杯発声により開宴した。終始和やかな雰囲気ですべてを深めた。中締めは紀中顧問が務め、盛会裏のうち散会となった。

【5月勉強会】

5月23日(木) ミューザ川崎会議室にて、5月勉強会を開催した。会員9名、和光大学学生11名の参加者を得た。今回は、**川崎南税務署 野口卓也氏**を講師に迎え「消費税軽減税率制度勉強会」をテーマに講義が行われた。軽減税率の対象品目、帳簿や請求書の記載方法など、具体例を示しながら説明いただいた。講義後には、POSレジアプリ、エアレジデモンスト

レーションが、(株)リクルートライフスタイル杉本隆太郎氏、(株)ビックカメラ 田村融氏により行われた。実際の機械を操作しながらの説明を、一同興味深く聴講した。その後交流会を行った。

→ 第51回海老名サロン報告

日時 7月26日 会場 神奈川中小企業センター6階大研修室
参加者 34名

報告「秋田県の事業環境について～秋田県へのアクセス・環境・人材」

秋田県産業労働部企業立地事務所 企業立地班 大山貴史氏

秋田県の企業誘致に向けての取組みについて紹介していただきました。

①キャッチフレーズは「高質な田舎を目指す県」

②秋田の特長：安心・安全低い事業コスト（低コストな土地・物価）、進む交通アクセス（羽田～秋田1h）・産学官連携（秋田大学と県内企業による革新的な低コスト複合材料の開発）・人材確保（県内企業とのマッチング支援・県内就職者への奨学金返還助成等）・全国トップクラスの立地支援制度（ア．本社機能等移転優遇制度—移転費用、設備投資の40%助成、イ．人材育成費助成、ウ．情報関連産業立地促進事業—賃借料、通信回線使用料20%助成、新規雇用者の人材育成費年間50万円/人助成）等について資料により説明がされました。

報告を聴いて一番興味深かったのは、高卒者の30%、大卒者の70%が県外に流出するという実状です。秋田で育ち・学んだ人材を秋田にUターン（Aターン制度と呼称）してもらうために、外部資本誘致を第一の政策課題とせざるを得ない実情です。秋田県には秋田大学・秋田県立大学・国際教養大学（授業は全部英語で実施）を擁しているので、外国資本の誘致をどう位置付けているのか、取組みはどうか等、改めて確認したいと思いました。

【第36回神奈川県異業種連携協議会定期総会議事録記載の訂正】

先般会員の皆様に送付いたしました、上記の議事録の記載に誤りがありましたので訂正させていただきます。

6頁8行目と13行目の「思考社」は「思考館」の誤りでした。

訂正しお詫びいたします。

➔ 閑中閑話

先日プラスチック関連企業の中堅・若手経営者が集った残暑払いの会に同席し、参加者の皆さんから厳しい状況の報告を伺いました。比較的小規模な企業の生の声だと思いますので紹介します。

(A社)「新規の仕事の話はぼちぼちあるが、既存の仕事はストップしていて、リピートが無い。」「先行きが不安。」

(B社)「仕事はとれているが、プラスチック関連の金型の仕事は減ってリピートが少ない。」「前期は大変だった。」

(C社)「7月～8月は景気が悪く、夜勤を減らした。」

(D社)「設備強化しても仕事が薄い。」「既存の仕事の減少スピードと新規のスピードの競争」

(E社)「自動車が悪い。トヨタとホンダからは仕事が出てきているが日産は本当にひどい。」「化粧品と医療関係の仕事はある。」

(F社)「ゴールデンウィーク頃が最悪で一日何個も仕事が出ない日があった。6月には少し持ち直した。」

(G社)「リピーターが減少し1月～3月が酷かった。大手の内製化が進んだ。」「新規もまだまだだが、消費税絡みで端末機の仕事が出てきた。」

(H社)「リーディング産業の自動車の仕事の減少が酷い。特に日産は6割減という話も聞く。」「医療関係は忙しい。」

(I社)「バブル後、リーマンショック後より現在は酷い。周りから廃業の話聞くようになった。」

現場で苦勞されている経営者の厳しい状況報告を聞くにつけても、10月に予定されている消費税10%引き上げに疑問を感じてしまいます。米中経済戦争、日韓外交摩擦、日米貿易交渉等、日本の貿易を悪化させる事が十分に察せられる状況下での消費税引き上げは、上に紹介したような企業経営者の皆さんを「崖に向かい連れて行く」(自民党萩生田光一幹事長代行)ことになるのでは、と危惧が増してしまいます。(愛賢司)

神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤愛 賢司
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛 ⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

➔ 神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80

神奈川中小企業センタービル 7階インキュベートルーム 703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com



第52回海老名サロン開催要領

I. 日 時 9月17日(火)午後3時より

II. 会 場 神奈川中小企業センター6階大研修室

III. 進 行

1. 資料確認等 (3時00分～3時05分)

2. 報 告 (3時05分～4時05分)

「心のバリアフリーで経営危機を乗り切る！」

～「もったいない」から始まる持続可能な経営～

株式会社 豊栄荘 代表取締役 原 健一郎氏

経営理念「私たちは、生かし生かされ心豊かな社会を築きます」

建築の大学院卒業後、建築士として第1線で活躍され、先代の急逝を受けて畑違いの旅館の経営に携わる中での様々な課題や苦労を「心のバリアフリー経営」で乗り越えてきた実践的な経験を報告していただきます。

(休 憩)

3. 討 論

参加者に質問・意見等をご自身の紹介も兼ねてお願いします。

IV. 交流会 「とりろう」(関内駅前)

*資料代 500円

*交流会参加費 3,500円

① サロン (ご出席 ご欠席) ②交流会 (ご出席 ご欠席)

ご本人以外の出席者方のご芳名・ご職名

FAX 045-228-7331

*いろいろな方との交流に関心や興味のある方はどなたでもご参加ください。

(担当 イグレン 愛:090-7282-0085)